(明治三十八年十月二十六日第三種郵便物認可)　明治三十九年六月十五日　金曜日　光緒三十二年閏四月二十四日　滿洲日報第二百五十八號　(一)

參布一日六吊□□…二百
紅糖價錢五吊四百文至五吊
（雜貨）市共上東三十餘幅
邊東共來七十餘幅
元子六吊九百至六吊八百

一連紙 …… 一連 一圓
一フールスカフプ全 …… 四圓
一中判洋紙全 …… 二圓
一半紙野紙 百枚 …… 二十錢
一卷紙 四十枚續 …… 十四錢

一□□ …… 三十圓以上…
一簞笥 …… 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 …… 六圓以上十二圓
一厨房用戶棚 …… 七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 …… 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 …… 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 …… 六圓以上九圓

滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日者行一角五分一月者每行每日一角登長年者價當面酌從減 每張四百文

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話十番 支配人室
百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
竹島丸 六月十五日午前六時 太沽、芝罘、長崎、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
末明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

瀛船出帆廣告
御代丸 六月十八日 門司、橫濱行
第三多聞丸 六月十六日 門司、橫濱行
依姬丸 六月十五日 門司、石濟行
元山丸 六月十八日 門司行
摩耶山丸 六月十八日 大連、門司、神戶行(定期船)
第三琴平丸 六月十九日 門司、神戶行
第二永田丸 六月十五日 芝罘行
松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話(五二五七)

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 (電話五二番)

大阪商船株式會社
瀛船營口出帆廣告
潮州丸 六月十六日門司行乘客謝絕
盛航丸 十九日入港
代理店 ブクレユ兄弟商會
遠來洋行 營口公園地横 (電話二十三番)

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋綢子紋緞子手巾花巾洋傘火柴等類價值格外克已並日貨價以實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家設立鐵道運輸營業便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳倘可面商一切事宜幸中外士商賜顧實無任歡迎臨局勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話(店一八三番 住所五五番)

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉綿布疋火柴洋鹼糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存貯貨物者請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油摊生意多年以本營業非祇做油房壹業及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚邇邇知之 正理事 潘玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
保裝運各國火輪船生意兼賣各樣洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸 丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話九十八番)

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(撒庫拉) 百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸君欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

遼河運輸 同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請向本號面議特佈週知
營口南永世街 同濟公司總局
馬蜂溝 同濟公司分局
營守屯 同濟公司分局
通江子 同濟公司分局

S.P.
糸平公司
本舖在日本開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下各色絨毯各式被面東洋布疋各種縮布毛布一切織物概行發賣並特約販賣朝日皮酒價及各樣雜貨才廉減特此廣告 營口元神廟街元神廟南邊西側
朝日ビール販賣 (電話一百九十二號)

三 井
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、八紫、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請惠臨是荷
○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八号)

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元 分行、新加坡、倫敦、孟買、天津 上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿火例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集貲本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙 朱斐章 王鹿芹 先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦 貴商所樂聞乎如蒙 賜顧請逕至大德亭內面議可也
營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以前關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已 諸公賜顧請 駕臨大德亭內面議不誤
王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

周
鐵道遼河 裕和盛運輸局 (電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵道專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟領事館代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝卸貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

銃砲火藥販賣業
本行蒙 官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
官許商 武田洋行 營口元神廟街第十號

煉瓦及雜貨
右多數貯藏能在候間多少に不拘御用命被成下度尚多數御入用の節は特に御相談可申上候
營口元神廟街十號
東海洋行
主任 針生安次郎
張貴良

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

縄叺莚販賣廣告
精々强勉仕候間不拘多少御注文奉願候尙は當地にて御入用之御方は南永世街三十七地岩村眞越方へ御申越被下度候
大連市西通り二丁目四十三號地
東京 門倉出張所

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
一、瀛東貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
營口西北街(電話一八番)
牛家屯停車塲構內(電話四六番)
丸重洋行

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口
華盛通轉運行
啓者本行專以代客運送各城貨物格外從廉倘蒙貴商光顧請至本行面議可也各站口皆有分設帳房格外周到不誤主顧現居西水晶宮東頭裕順興內特仰周知
本行總理事人 揚兆豊 敬啓

營口永世街
●森醫院
院長醫學得業士 森矯
●齒科部
主任齒科醫士 兒島市郎
啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八日起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之溢渦面貌爲之失形況疾患權於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀轉輾反側至爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奧巧技入神齲齒則窩則須紡去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲人齒株無殘根者則以護模製之座床列植義齒其他或藏齒頭以金冠或欲入義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不變有齒患矣然中國醫家之風潮向未多達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂惻然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇到其術極巧其價極廉以期普遍救治並擇近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

志岐組
木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉凡中外士商光面議願請到本棧

東京電報

●赤十字總會

（十三日發電）十二日上野公園にて日本赤十字社總會開會され來會者約四万人皇后陛下御行啓あり戰時中の救護事業に付き御沙汰あらせられ總會に令旨を賜ひ閑院總裁宮殿下の御奉答副總裁松方伯の報告ありたり

大連電報

●大官一行の觀覽

（十四日午後二時五分發電）野津、伊東、樺山、東郷諸大官の一行は昨日二零三高地に登り攻圍軍激戰の跡を弔し今日は海軍部内を巡覽せり

●一行の仁川出發

大官一行は明日滿洲丸にて仁川に向ふ

●樺山大將の奉天行

樺山海軍大將、清浦樞密顧問官明日奉天に向び出發すべし

●東郷大將と忠魂碑

一行中東郷大將のみ旅順に殘りて忠魂碑建設計畫を觀る筈なり

倫敦電報

●英皇帝の吊辭

（六月十二日發電）英國皇帝陛下は新西蘭土太守ブランケット卿に電文を送りてセドン氏卒去に對する吊辭を述べ且つ同氏が永年熱誠を以て大英帝國の福祉に貢獻したるは拔群の功績なりと稱讃せらる

●エルジン卿の打電

殖民大臣エルジン卿はブランケット卿に打電して曰く大英國政府はセドン氏死去の報に接し哀悼の意を表す且つ新西蘭土の爲め同情に堪へずと

●保險會社重役の告發

紐育相互生命保險會社重役たりしギレツト、グランニス兩氏は文書僞造者として告發せられたり

雜報

●福島少將等の用向

福島參謀次長山座政務局長等の一行が或用向を帶び滿洲出張を命ぜられ已に京地を出發せるとは本紙の屢ゝ記載する所なるが今右一行の帶べる用件なりといふを聞くに

一、去月二十九日元老閣臣會議に於て決定せる滿洲經營方針に基き其實行調査の件
一、滿洲駐在の文武官に該會議決定の方針を諭示する件
一、大連開放に關する件
一、滿洲に清國税關設置の件
一、滿洲檢疫に關し清國政府と協定の件

等にして尚他に二三重要の用件を帶び居れりといふ

●海軍主要部の論功

海軍にては過日來伊東、東郷、山本の三大將及び齋藤中將會合協議の結果主要部の武功調査をそれぞれ決定したりといふ其内容は知るに由なきも多分東郷前聯合艦隊司令長官、伊東前軍令部長は功一級に敍せらるべく尚他に直接戰鬪に參與せさる山本大將も功一級に敍せらるべく又片岡、村上兩司令長官は陸軍に於ける軍司令官と同一なれば權衡上功一級に當るや知れざれど中將としては功二級なるべく又司令官中殊功ある瓜生、出羽の兩中將は無論功二級にして第一第二艦隊參謀長たりし島村、加藤、藤井三少將も功二級なるべく其他の司令官は何れも功三級に敍せらるべしと傳へらる但し其發表期は陸軍との關係上尚未定なるべし

●韓國幣制改革の失敗

韓國白銅貨引換期限は本月三十日を以て滿了するに拘らず引換未了として現時流通せる白銅貨に官鑄私鑄を合せ尚一千五百萬圓を下らず韓國通貨の約半分を占め居る實況なるも目賀田顧問は斷して期限後の通用を禁止する決心にて度支部に其命を傳へたるより韓人の設立に係る京城商業會議所の如きは近々伊東統監に向つて嘆願する所あり統監府商工部は此上强ひて引換又は通用の禁止を勵行する時は韓人側は勿論日本人側の商業に非常に打撃を受くると明白なれば之を阻止せんとの意嚮に傾き統監府既に幣制改革の失敗を認め其遂行の不可なるを明言し居る程なるも我か顧問の意見により度支部をして發布せしめたる法令に對し統監府より改廢を申立るか如きは甚た其体を得ずさりとて成行に任するか時は内外の恐慌はいふまでもなく韓國全土の大騷亂を惹起せんとする形勢なれば統監も昨今非常に苦心中なりといふ

●露國東洋艦隊

露國海軍大臣は今秋を以て其東洋艦隊充實の爲め戰鬪艦スワロフ、裝甲巡洋艦グロモボイ及びロシーア、保護巡洋艦ボカトウイル及びオーロラの五隻に水雷艇隊を加へて絶東海面に派遣するに決したる由なるか尚產業經營本局は東洋に於ける露國商工業保護の目的を以て巡洋艦コンチルベーリング及びレフテナントイヂムアの二隻を派遣せんとしベーリングは不日黒海を發し島港に向ふ筈なりといふ

●要塞防禦の改善

三十七八年戰役は我か陸海軍は勿論世界の軍事當局者に多大の敎訓を與へ稗益する所少からさるか殊に旅順要塞戰の如きは要塞の防備に一大改良を要することを發見したる爲め我か陸軍當局者も未た完成の域に達せさる下關、紀淡海峽、舞鶴、函館等諸要塞の防禦計畫を變更する事となり未成工事の殆と全部を中止し實戰に由りて得たる智識を以て完全なる計畫を立てんと目下專ら調査研究中なり

●陸軍教育機關改良

陸軍は日露戰役以來現に四個師團を增加したるか經費の許す限り明年度に於て尚若干の師團を增設すると共に軍團組織となし編成上に多大の改良を加ふる方針なりとの事なるか更に聞く所によれば陸軍側擴張改良は獨り之に止らず戰役の與へたる幾多有益なる敎訓に基き軍事智識養成の府たる學校以下軍事教育各種機關に向て一大擴張的刷新を加ふる筈にて關係當局者は頻に之か調査に從事し居れり而して右改良は總ての現在教育機關に及ぼす筈なるも先つ要塞野戰の各砲兵射撃學校、砲工學校並に騎兵實施學校等の改良、重砲兵監部の擴張、尚必要に應し更に他に適當の教育機關を設くる筈なりといふ

●統監の歸任期

伊東統監は來十日頃出發歸任の筈なりしも上京後要務蝟集し且つ韓國問題について內閣と協議を要するとも少なからされは來十五六日頃まで出發を延期したり尚歸韓の上は不在中の用務を處理し七月初旬滿洲視察の途に上るへしと

●楊公使の奏議

東京駐紮楊公使は一書を兩宮に上りて曰く本官就任の當時清國留學生の東京に在るもの千人を超えさりしか今や八千餘名の多數に上れり日本に於ても清國留學生を容るゝため完全なる三四の學校あるも不完備なるもの亦多數あり高等學堂大學校等に至りては定員ありて豫定以上を入學せしめす故に本官は日本文部省と交渉して定員の增加を要求中なり又我留學生の品行修らす如何はしきものあるは痛嘆に堪へす依て各省督撫に通飭し留學生を精選せしめられたし云々

●英艦隊歡迎計畫

ムーア中將の率ゆる英國艦隊は來月上旬頃横濱に入港の豫定なるか同市の有志者は同盟國の艦隊にもあり且つは我か香取鹿島受取廻航員等か英國に於て非常なる歡待を受けたる事にも省み同艦隊の入港を迎へて一大園遊會にても開かんとの説起り目下同市の官民間に種々計畫中なりといふ

●洪州暴徒の種類

目下我兵の討伐中なる洪州暴徒の數は四百又は五百と自稱し居たるも其實二百内外に過ぎずして多くは一定の住所なき無頼漢又は親衞隊を放逐されたる兵士上りの草賊にして何等の主義抱負を有するものにあらず尚暴徒の首腦の氏名を聞くに首腦は閔宗植にして

先鋒將	丁海斗	后將	ボ永斗
中軍將	丁在浩	右翼將	金聲金
左翼將	李鳳歡	參謀	金明佳

●モリソン氏の觀察

倫敦タイムスの北京通信員モリソン博士現時支那に於ける排外熱に就き左の如き觀察を爲し日本人を攻撃し居れりと

清國政府は現時の排外運動に同情を寄するの態度を示し居らす不穩なる形勢の動機として第一に數ふへきは新に同國に續生せる新聞紙にして是等の新聞紙は多くは開港場にて發行せられ大抵日本より新智識の斷片を得たる書生の經營に關り且無責任なる日本人に依りて畀助せらる是れ等の中最も性質惡く煽動的なるものは實に日本の保護の下に發行せらるゝものなり故に今日の急務は英國は日本と協商して清國を助けて新聞紙條例を發布勵行せしむるにあり云々

●大連通信

▲我が大官の一行　野津、伊東の兩元帥樺山、東郷、井上、上村、有馬、松本等の海軍將官及び副官九名と高崎、清浦の兩樞密顧問官及び他の高等官五名を載せたる滿洲丸は十日旅順入港の豫定なりしも濃霧に妨げられ十日の晩刻當大連港に入港し直ちに防備隊前面の水面に投錨し翌十一日一行は上陸して鐵路金州に至り猛烈を極めたる旅順攻撃の第一會戰場たる南山に戰鬪の跡を弔ひ午後四時金州を發車して歸大し滿洲丸に一泊し翌十二日朝旅順に向つて解纜し本船の旅順港内に碇泊すると共に直ちに上陸して稅所要塞司令官の案内にて要塞陣列館を參觀し夫れより黄金山砲臺及び東北方面の陸上砲臺を觀望し十三日軍港内部を孜細に巡視して更らに又た二〇三高地に登り海面と背面とを展望して往時激戰の跡を偲びつゝ深き感興に打たれつゝ長時間を消したりと

▲市中の盛觀　前記元帥等一行の大連市に上陸するや全市は國旗を掲げて敬虔なる敬意を表したり

▲石塚民政長官の上京　石塚民政長官は俄かに東上することゝなり不日出發の筈なり多分今回布されたる南滿洲株式會社の組織に關し用務上の打合せをなす爲めならんと云ふ

▲臺灣舊友會　二十七八年の役によりて臺灣が我が領土に入りしより胸に雄圖を藏したる幾多の志士は料然として臺灣に入れり三十七八年の戰役によりて遼東半島租借權が我が領有に歸してより幾多の有志は復た遼東半島に入れり而して其中に就いて十年前に臺灣に趨りたるもの、多くは復た十年後の今日遼東半島に入れり此に於いて臺灣舊友會なるもの當地に發企され十日午後三時其の第一會を市内虎公園に開會されたり來會者二百餘名に上ぼり大神樂、義太夫、手踊等の餘興あり午後七時散會したるが近來の盛會なりし（刀水生）

●遼陽雜信

▲遼陽水澤軍政官　同軍政官は頃日來兎角身体健かならざるも久しく副官欠員の儘なりしを以て自然劇務は軍政官を煩はし病軀を押して出勤し或は出張する等の事ありしが爲め愈病勢募の り勤務に堪へ難くなりたるより目下引籠り療養中にありと

▲遼陽軍政署副官　同軍政副官は高市前副官病氣の故を以て歸朝以來久しく欠員の儘なりしが今回在奉天五十四聯隊の中隊長たりし三雲大尉新たに遼陽軍政署副官に任命され過般着任せりと云ふ

▲日本人會　遼陽の日本人會は會員相互の感情を融和し意志の疏通を謀る方法として城內に二區城外に四區の小組合を設け組長なるものは其の組の利害に關し日本人會と一般會員との間に介在して意志の疏通を計る事とし過般來此を實行せるが此の度久しく城外在住者の宿題となれる夜警施行も此と同時に行ふに決し目下其の筋と聯絡を採り完全なる夜警を行ふ事とせりといへば夜間の警備は此にて充分なるべし兎に角同日本人會の一動作と見て宜しかるべし

●今月氣象表

中央氣象臺第八臨時觀測所にて觀測せる本年五月中の當地氣象左の如し

日付	氣温（攝氏）平均	最高	最低	差	雨量（ミリ）	最多風向	記事
一日	一四、七	二三、三	四、〇	一七、三	—	北西	—
二日	一五、六	二六、一	三、九	二二、二	—	南	—
三日	一六、六	二四、四	六、三	一八、一	—	東西	—
四日	一六、九	二五、一	八、二	一六、九	〇、二	同	微雨
五日	一七、七	二四、七	八、六	一六、一	—	南	强風
六日	一八、五	二七、七	八、一	一九、六	—	南東	—
七日	一四、〇	一七、一	一二、一	五、〇	二、九	東	小雨
八日	一三、五	一六、八	一〇、八	六、〇	二、〇	北東	同
九日	一〇、一	一五、二	六、八	八、四	七、七	南西	雨
十日	一〇、四	一七、三	一、五	一五、一	〇、一	同	濃霧微雨
第一旬	一四、八	二一、八	七、〇	一四、七	一三、〇	—	—
十一日	一三、五	二一、五	四、一	一七、四	〇、三	南	强風微雨
十二日	一三、四	一七、四	九、三	八、一	七、〇	南西	雨、强風
十三日	一六、二	二三、九	〇〇、六	〇〇、六	—	同	强風
十四日	二〇、七	二七、九	一四、八	一三、一	—	同	烈風
十五日	一三、四	一七、二	一〇、五	六、七	四、一	南	雨
十六日	一三、六	一六、七	一〇、〇	六、七	五、八	同	雨
十七日	一三、五	二〇、四	五、七	一四、七	—	南西	—
十八日	一六、六	二二、一	九、九	一二、二	—	西	—
十九日	一九、五	二六、五	一〇、二	一六、三	〇、八	南西	烈風微雨
二十日	一六、六	二三、八	一一、三	一一、五	—	北西	—
第二旬	一五、五	二一、六	九、四	一二、二	一七、九	—	—
廿一日	一、六	二六、七	一九、三	—	—	南	—
廿二日	一九、五	二七、〇	一〇、九	一六、一	—	北東	—
廿三日	二〇、一	二八、九	九、四	一九、五	—	南	—
廿四日	二一、二	二九、五	一一、九	一七、五	—	南西	强風
廿五日	二三、二	二八、〇	一七、五	一八、五	—	同	同
廿六日	一八、〇	二三、五	一三、八	一〇、七	〇、四	區々	微雨
廿七日	一七、四	二五、〇	一〇、五	一四、五	—	北東	强風
廿八日	一五、五	二三、二	九、二	一三、〇	—	北	—
廿九日	一六、六	二五、〇	五、一	一九、九	—	北西	—
三十日	一九、七	二八、八	七、九	二〇、九	—	東	—
卅一日	一九、八	二八、四	一〇、〇	一八、四	—	南	—
第三旬	一八、八	二六、六	一〇、二	一六、四	〇、四	—	—
全月	一六、五	二三、四	八、九	一四、五	三一、二	—	—

●露清銀行再設

曩に奉天の開放せられて以來內外人にして種々の事業を同地に計畫する者頗る多き中にも露淸銀行を再起して大に我正金銀行の向を張らんと目下秘密に運動しつゝありといふ

●奉天の降雹

奉天にては去る十一日午後直隷省附近より來れる暴風同四時十五分より約十分間電光閃き驟雨に交じりて金米糖大の降雹ありたり

●大連彩票の營口當籤

當籤の內營口賣捌所西北街裕和盛號にて販賣したる彩票中當籤番號左の如し

第四彩　一一、九八六（當り高一百圓）
第五彩　一一、八八三（全四十圓）
第六彩 當高十圓　一一、七五九　一一、七七六　一一、九二四　一一、九〇八
第七彩 五圓　八、〇五五　一一、九二八　一五、二二二　八、〇九一　一一、九五〇　一五、三八三
第八彩 二圓　七、五六〇　八、〇一〇　一〇、五一四　一〇、五六七　一一、七七四　一五、二七一　七、五八六　八、〇一七　一〇、五一七　一〇、五九三　一一、八五四　一五、三二八

●十六師團聯隊長會議

去る十三日遼陽に於て同師團聯隊長會議を開かれたるが仙波、伊崎の兩旅團長、列席されたりと云ふ

●瀨川領事の會長辭任

瀨川領事には久しく日本人會會長の職に在り同會の爲め盡力せる所尠からざりしか今回公務多忙の故を以て同會長を辭任せられたりといふ

●佃一豫氏の來營

天津稅務顧問佃一豫氏は或要件を帶び一昨日來營海岸通大倉組出張所に投宿せるが一兩日滯在の筈なりといふ

●西南北

北京の倫敦タイムス通信員モリソン博士は戰爭前迄は大の日本贔負であつたが此頃は態度が全然一變して支那の排外熱の熾んなのは全く日本人の煽動するからで殊に日本の保護によりて發行して居る漢字新聞が惡るいなんかと謂つて居るげな奴さんポーツマウスで餘程愛想をつかしたと見える▲獨乙の或雜誌は日本人の稼業狀態を記して其中に日本人といふ人間は時間の觀念の無い事を痛罵して外國人等の寸陰を惜しむことは日本人に取りて却て奇怪千萬に思つて居るといふ事を書いて居る營口でも大抵の宴會や集會に日本時間から始めるのか營口時間から始めるのか分らぬのが多いので一時間は何時も棒に振らぬ無さやならぬ▲韓國では今回一般に日本の標準時を用ゆることに爲つた營口の如きも日本の標準時を用ゆることになつたら定めて便利であらうが滿洲はまだ爾ういふ譯に行かぬのは殘念である併し遠からず營口時間許りに爲る丈けでも仕合であらう▲獨乙では燐寸製造に白燐を使用することを禁止したさうなが此白燐は非常に有害なもの、さうで滊車の中で烏渡マツチを擦つて煙草を吸つてもそれが傍の人に大變の害と爲るさうだマツチの軸木で齒をホジくる人なんかゞ居るが尚更有害である▲野津伊東諸大將の一行旅順に抵らんとして濃霧に阻せられた爲めに一日後くれて漸つと這入つて來た一行中に上村中將が居たのは惡るい居合せである▲滿洲視察者の營口に來て劈頭第一に發する問は日本人會であるが何うしても具體的に其性質を說明することが出來ないので唯だ日本人が寄つて會議をする所であると答へてやる每月四度か例會とか評議員會とかいふものがあつて駄辯の共進會をやる處であるから會議の爲めに成立つた會である創設以來幾十百回の例會評議員會を除いたら日本人會なるもの、事業日本人會なるもの、活動日本人會なるもの、成績は一も無いのである

▲△▲△

●編輯より（其二）　摩峯新に東京より來る入るに宿舍無し小楷畢生の智囊を絞りて豆粕小屋に急造的修繕を加へ漸く身を横へ得る丈けのものを得申候朴捻老も浪六の小說中にでも有りさうなる二本町の周易判斷所を引揚げてふしようぐく古巢へ復歸致し候是れにて久しく四方に散在せる編輯の諸同人均しく同一家屋の裡に棲息する事と相成候是れ近來に稀れなる編輯の大變動に御座候併し編輯の總べてといへば稍ゝ大袈裟に相聞え候へども摩峯朴捻の外木葬との三人のみに候間實は左迄仰々しく御吹聽申すべき事にも之れ無く候

汽車時刻

關內外鐵道

上り　營口發前八、三〇　七、〇〇　溝幇子同九、四五　九、〇〇　錦州同后三、四五　二、〇〇　山海關着六、〇〇　八、一〇　山海關發前八、一五　五、〇〇　塘沽同　四、一〇　天津同　一一、〇九　北京發前八、〇〇

下り　山海關發前七、〇五　四、四五　錦州同后三、五五　二、〇五　溝幇子同二、四五　四、四〇　營口着四、五五　七、五一

東清鐵道

上り　新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、五七　營口發前六、三五　后九、三五　大石橋着同七、三〇　一〇、三〇　大石橋發前八、〇五　后一一、〇五

下り　溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、五七　大石橋發前八、一五　后一一、一五　營口着同九、一〇　一二、一〇　大石橋發前七、三五　后一〇、三五

（淡谷木材店）
本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小檫子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知歸此廣告
東青堆子橋南

西海洋服店
歐米各國最新流行形
電話百二十

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
郵便鐵道附屬鐵工
川　鐵工

天氣豫報

營口地方天氣豫報　自五日午後六時至六日午後六時

南の風晴れ後ち曇

小說

喜劇 世界の滅亡　第一幕（中）

吹田蘆風

本鄕某ビーヤホールの場

上野「僕はそんな事は能く分からぬが、僕等の知らむと欲するのは、靈魂の有無と云はうより寧ろ靈魂存在の意義であらう、然し彗星が飛んで來るが百年目、僕等も此の意味深き、なつかしい人世を去らなければならんのか。諸行無常！　宇宙は確にショペンハウエルの所謂盲目的意志で支配されて居る。人世の半面は確に不調和だ。不可解だ。地球は畢竟するに石鹸球だ我々人間は其の上で虫けら同然、蠢々して居るのである。斯うなると何うしても厭世觀に陷らざるを得ん。あゝ、ノアの舟ぢやないが、空中飛行器でも欲しいなあ。

山澤「はゝら見ろ、君だつて餘り大きな口はきけねぞ。──然しお互に何だな、詰らねえな。十年の螢雪夫れ何する者ぞやだ。彼の地藏眉の花ちやん、鼻は聊低いが愛嬌は零れる樣な輕子、新橋の小蝶に千代吉、諸嬢にも最早遭はれんのかなあ。

橋本「戯談ぢやない。自惚けずと飲め〳〵（ボーイを呼びてビールを命ず。）

主人「且那樣方、その世界滅亡と云ふのは、眞實で御座いましやうかね。手前共も好い年齢をしやがつて、矢張生命は惜しいと見え、眞逆御星樣が飛んでゐらつしやる譯はねえとも思ひますが、又考げゐると、御歴々の學問のある方が云ふことで御座ゐますから、全然型のねえ事ぢやねえと存じまして、何だかこう嫌に氣が滅入つてならねえんでげすよ。ならう事ならビール一杯を三錢均一に致しましても、女房を叩き出しても、──

吉井「そりや激烈だ。然しビールの三錢均一は有難いね、早速履行して貰はうぢやないか。

主人「へゝ御戯談を……御星樣が飛んでゐらつした上なら、随分と値下げも致しまして──

皆々「アツハヽヽヽ

上野「棺桶から手を出して、香典を摑む格だ。

吉井「大きにさ。──然しまあお互に仕方がない、此の期に及んでじたばたしないが潔いやなや、ツンテテツン、──

山澤（義太夫の聲色にて）「とは云ふもの丶一情

橋本「嫌な聲を出すなよ。然し詰らむな、氣が滅入るな。

皆々甚く考へ込む。前幕の桐田理學士、妻愛子、及び木村助師、下手段々より登場。皆々を見て聲高く。

桐田、木村「や、諸君、失敬！

愛子「あら皆樣、お揃ひで。

皆々（驚いて）「わーッ、彗星！（桐田等を見て）何だ、桐田か。（三人椅子に付く。）

吉井「何だ威嚇しやがつた。おい桐田、君はまた飛んでもない事を云ひだしたぢやないか。あの說は一体眞實なのか。

桐田（頭を掻きつゝ）「誠に面目ないが、ありや少しく誤つて居た。（皆々顔を見合せる。）彗星の顯れたのは事實だ。然し地球にぶつかるといふのは不確だ、いやぶつかりやしない。少し望遠鏡に狂ひがあつたし、研究の方にもほんの少しだが手ぬかりがあつたので、──

上野「そりや、學者として餘りに輕卒だつたな

木村「尤計算の方は無誤謬でした。

▲正誤　昨日本小說第一幕（下）とあるは第二幕（上）の誤植に付此に訂正す

●人面獸心等の大咬み合い　人間なら摑み合いと書くべき筈なれど獸ども事故咬み合いと云ふなりさても面のよい女をば犬か猫を買う樣に仕入れて來て鼻の下の長い野良を釣るを天下唯一の仕事として居る醉月の吉ヵ榮次郎（六十）夫婦と云へば屢々新聞で面の皮を剝かれて恥知らず普通の者なら以來愼みでも爲べき處を又々擲られること能く〳〵の業晒しと見えたりそは先頃山の神か內地へ例の狐の皮や馬の骨を拾いに行つた留守を幸ひよい年をして何とかいふ十八島田の蔦かづらに搦み付かれるのを嬉しがつて入り來る野良と鼻の下の比べづてをして居るまでは宜かつたが當時投書にも有つた通り山の神が歸つたら乾度大悶着を起すだらうとの豫言に違はず歸る此方毎日の咬み合ひは實に苦々敷ことなりき然るに一昨夕刻榮次郎の留守なる爲め島田が代つて帳場に坐り居たる折しもあれ風呂より歸れる山の神は之を見ると等しく面相夜叉の如くに變じ突然島田の髮を摑んで引き倒し打つやら蹴るやら思ひのまゝに顔となく頭となく打擲し尚は飽き足らぬとて駒下駄を擲び來ての滅多打ちに他の女共も驚愕して止め樣とすればそれをも擲り餘計な留立止しておくれ妾は此女はどうあつても生かしては置かれない自分の生命も捨てる覺悟の代りには斯うして殺して異れねば腹が癒えぬと狂ひ〳〵ての亂打に島田は悲鳴を上げる女共は呆氣に取られるその中に表には人の山を爲すといふ大騷ぎにて若し此儘に捨て置かば正しく打ち殺しかねまじき勢ひに急ぎ榮次郎を探し連れ戻りしかど益々荒れて止め度もなかりしが折しも來合せたりし客を賴みて僅かに其場は分ちたれど山の神は是非共彼女を殺さずには置かねといふて今に尚ほ狂ひ居る由又島田はこれが爲め頭面身体共に腫れ上り見るも忌はしき有樣なりと殺すも殺さるゝも厭い所業から出たる報ゐ故誰とて蠅一疋死ぬ程にも思はいけれ共平常の獸的行爲さへあるに此地にまで斯る汚はしき恥を擴げるは啻に風俗を紊すの所業なるのみならず殺すの殺さぬのと云ふが如きは正しく治安を妨くるの重きものに付斯る輩は其筋にても速かに退去を命じ後人の戒めとせられ度き事なり

投書かご

▲市內商店中永世街大阪屋書籍店ほど橫風な店は恐らく他にあるまい予は二十錢や三十錢安くとも買ふ氣がせない而も他店よりは慥に二割以上の高價た（注意生）▲滿洲日報廣告に意匠を凝らす第一の商店は加藤洋行次は三友洋行である文明的頭腦のある商人は宜敷廣告を活用しては如何（好美生）▲近頃邦人の不良者中醜体極まる服裝をして誠に見苦しい互に海外にある者は少しは注意して如何に我等國のチャンに對しても恥しい事だ（パーク生）▲西北街卑月と云ふチャン向きの料理店に住む三四匹の狐が毎日毎夜近所の支那客棧に入込み切員をして居る噂列に夜の十一時過ぎとなれば寢衣一枚で草履の儘附近の暗處をブラツキ苦力や連中を手招いて居るげな（憲兵生）▲此間公園で憲兵に四人呼び止められた胸で聞けば足袋を穿ない爲めだとの事それから暫らくすると公設便所の連中が四五人連れてやつて來たそれも又何足袋を穿るので余は又一本頂戴するぞと物凄寄にて一向お咎めない女に恨しいお許しになつてあるのですか其筋に聞く（尋問生）▲日本人會評議員の連中が面白い行き放言設言を敢てする迷士言りた一層のこと誤算人の面々を加へて數日蹴球の娼業繁榮策を講じたら餘程面白き浮世かも知るろう（爺やで盜聞き）▲日淸貿業協會の主旨は日淸人間に決闘か起つた時の仲裁機關のそうだナールホドそれで分つた酒井のドクトルが客員席に臨んで居る哩

家庭小話

室內の掃除

室內を掃除するにハタキもて塵埃を立つるは良しからず殊に病室など最も注意すべく塵埃の靜まるを待つて之を雜巾にて拭き取るを善しとす若し必ずハタキを使ふ要あらば屋退しより椽側か庭外に持出しハタキを掛くるやうすべし又室內に空氣の流通を善くし日光を入るゝ工夫あるべし日光は非常の殺菌力を有するものなれば之を利用するは衛生の秘訣なり獨乙の諺に一日光入らざれば醫師入る」といふてとあり、最も味はふ可き言にて五、六、七の月はペスト流行期なれば能く〳〵此點に留意すべく壁、窓掛など塵埃に黑の汚染あるものは食パンを切りて之にて拭へば全く垢は落ち且殺菌の効あり最も重寶にて此法は羅紗の帽子等の掃除にも應用するを得べし

朝南

佛界の泰斗雲照律師老軀を厭はず滿洲の荒野に巡錫せらると聞いて

雲間より照る月影の凉しさを
あふくもうれしもろこしの野に

ふみまよふ人のためにと雲間より
開路をてらす月のかけかな

頭陀袋

一、朝鮮飴　一箱　御屆

右者先般鷲、蜻蛉が喧嘩の際拾ひ取りたるものに候處目下拙者イヽコの白鍛に保管せしめ居候も差當り其の處分法に閉口罷在候即ち下手に食べ樣ものならベタ〳〵齒に引着て仕末に終へなく、始納て置けば片端から菌が生えて臭氣甚しく打てば挫げ煽げば膨れ誠に厄介な代ものに御座候じやといふて打捨て置かうものなら蠅や蛆共がせゝり吵つて形無しにするのみならず遂には鷲や狼の餌食となるか落ちに候斯る有樣故此際腕利の職人を派遣して根本から煉り直し寧その事日本一のキミ團子に致度爲念此段御屆申上候也

月　日　見留丹退內

飴屋取締役御中

廣告

社告

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依賴者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街　瑞穗洋行
遼陽西門外　芳文館
奉天大南門內景祐宮胡同　本社支局
大連盤城町　岡野新聞舖
安東縣新市街　天祐公司
新民府　泰東公司

風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
滿洲第一湯崗溫泉
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口○大石橋○海城○湯崗溫泉全停車場○遼陽○奉天

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第一市場西へ入る
遼河運輸　同濟公司

★サッポロビール

ビールも雜貨も船毎に新輸入とは愉快だね　アハヽヽヽ
各種雜貨一概俱全
加藤洋行
營口東海關後街

濟生八方製造發售廣告

啓者敝社長山田氏夙爲衛生起見詳査日淸韓人之体質博探東西古今之神秘研究多年始得左開八種之靈藥于茲同志相集像備資金一十万元創立日華製藥合資會社即經官准現將本社開設于營口永世街甲一六六號精撰藥材留意製劑自造所發明之濟生八方克已從廉專向日淸韓各地方以售且卜要地設在分舖或寄售處以期衛生之治及而崗十劑以上則爲薑賣特行折價切盼中外貴客監其誠實無欺藥效亦異尋常陸續賜顧是荷

仁　爽快丸（芳香淸凉驅邪避瘟誠是常備之靈丸也　消飲食之毒兼消內即是食後之要劑也　忽去口內惡臭能美音聲最爲接客之佳品也）
義　腸胃散（健胃尙腸速化飲食眞是大卜之靈散也　縱雖多年難症服膺數次無謂未曾全癒　則爲小兒卜蟲之特效藥具名嘖々于世）
禮　婦女散（不論各種常症並胎產諸患靈驗如神所謂婦人專用之妙散也　凡婦女已迄妙齡之後須備此藥常爲袖中之至寶）
智　鎭腦散（專鎭頭腦並和神經藥效顯著誠是未曾有之奇方也　快通大小二便以解秘結而和腹內最爲古今之良劑也）
忠　消熱丸（消散邪熱立使心身舒暢神效偉大眞是必携之靈丸也　縱雖危急熱性當其初期取用靈應不誤立以全治）
信　掃毒丸（專治楊梅瘡毒以及一切毒瘡納力無比眞可驚之秘劑也　特有掃毒小兒胎毒瘡恰似霜風吹枯葉之奇効）
孝　淸明水（專治各般眼疾之靈水不論輕重一經用過立有靈驗盲者復明　能適一切耳患之神液不拘久暫一過點用奏效異常聾者再聽）
悌　瘡傷膏（專治瘡傷等身面諸疾之妙膏即一擦用應效立著痛癢忽止　又遇蜂蠍叮螫等種虫毒宜將此膏擦敷患處炳痛立治毒氣悉散）

營口永世街甲一六六號　日華製藥合資會社　敬白

松岡病院
內外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五番）

元祖　アイスクリム
●斯道の元祖老夫婦が多年の經驗と積み
●味を試み（アイスクリム）の由來如何を知れ
山金
（淸國營口平野町）

大日本政府特定
營口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東淸鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒澤の鶴 洋酒、食料品 和洋鑵詰、食器 內外煙草、葉卷 エジプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醬油 酢、木炭、其外 色々 卸並に小賣
彩票
毎月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎 支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

新荷着
▲板材木▲木炭 ▲生石灰▲竹、疊 ▲亞鉛板▲洋釘 ▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話白五十二番)

石材 石灰 大販賣・
英治洋行
(電話三二)(營口西北街)

上海
中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有直銷之約凡新聞紙料印書紙各式紙料莊票包線紙料草板紙張日本機器連史紙訂子彩印字簿其他各件紙料一切紙由本行出售貴家惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

軍隊用雜貨 日用品雜貨 吳服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

○板材木 ○金物類 ○疊建具 ○椅子テーブル ○燈類 ○鰹節雜魚 ○酢醬油 ○其他雜貨色々 新荷有ノ安賣
○蚊帳 ○金庫 ○花莚 ○ペンキ ○文具 ○紙類 ○罐詰
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

總經理批發
電話百九十番 營口永世街
回天堂三木大藥房

陸海軍人及華族、醫學藥學博士より賞狀を賜る

THE GEM
TRADE MARK
懷中良藥
ゼム
氣分を爽快ならしめ口中を潤し聲を美す
ゼムは偉大なる効能、愛すべき美味、馥郁たる香氣を有し消化と毒けしに効ある良劑也
ゼムは氣候の變め風土異なる惡臭の場所に携帶し常用せば時候あたり、食傷、水傷を治し流行惡疫を豫防なす一等劑なり
ゼムは紳士、貴婦人、軍人、學生、實業家、旅行家の必携劑にして集合場、雜踏場、宴席、滊車、滊船中に於ては欠くべからざる要劑なり
ゼムは二三粒を含めば精神快活口中優雅佳香を放ち人座爽快を感せしむ故に衛生家は談活、喫煙、飲酒、食前食後に實用なす貴重良劑なり
藥價 七十粒拾錢 百六十粒貳拾錢 四百粒五拾錢 九百粒壹圓 新意匠容器ゼム入廿錢
日本一手發賣 東京馬喰町二丁目 愛國堂 山崎榮二郎
支舖 大阪高麗橋二丁目 山崎弟兄商會
●全國到る處藥店化粧品店に有り●にせ物御注意を願ふ

資本金參拾萬圓
日淸合股
營口元神廟街第貳九八號
昌
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道及海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘荷運貨客愛顧以新貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特此謹白 倘沿途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補

工
飯塚工程局材料部
營口元神廟前
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

謹告
弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若き形を揃へ料理は勿論御待遇家事萬端ナ刷新を加へ御手輕御淸遊に適する樣店中車輪の大勉强何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候
御客樣
店一同
營口永世街第四十一番 電話壹號(彌生跡)
醉月

商號 (キ)(キ)(キ)(キ)(キ)
夏もの大賣出し
六月十五日より六月二十日まで
永世街第貳市場前
木村呉服店
(電話八八)
出張 鐵嶺 鐵嶺倶樂部內

公告
各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
元神廟街營口貿易筋向ひ
寶泰祥
東營口元神廟街
福興洋服所

料理店
滿月
平野町一六二
滿月支店
平野町入口
店主 青木勝惠

銘酒劍菱

遼陽停車場向ひ
池上出張店

硝子製造
營口靑堆子街三百六十四號
菅野玻璃廠
THE OFFICE M. SUGANO'S
GLASS MANUFACTORY.
No. 364, St. Chingtaizu,
YINGKOW.

宮門抄

十九日

工部　鴻臚寺　正藍旗值日無引見　英慈假滿請安　福建知府來秀謝恩

召見軍機　來秀

呈遞封奏一件

上諭恭錄

旨岐昌著賞給副都統銜作爲伊犁察哈爾領隊大臣照例馳驛前往欽此

十九日奉

奏議

戶部奏議覆晉省紳商請展辦畝捐辦理路礦摺

奏爲遵　旨議奏恭摺仰祈　聖鑒事竊准山西巡撫張人駿奏本省紳商請展辦畝捐爲辦理路礦之用一摺光緒三十二年三月初一日奉　硃批戶部議奏欽此欽遵由軍機處抄交到部查原奏內稱光緒三十一年九月准戶部咨二十七年六月山西巡撫岑春煊奏預籌教案賠款一曰按畝攤捐一曰鹽加稅一曰勸紳富捐計自開辦迄今已及四年此項入款以淸教案有餘應令查明餘款若干據實報撥並將地畝攤捐即行奏明停止等因查山西畝捐一項係按糧徵收每糧銀一兩隨捐銀一錢五分每年約收銀三十七八萬兩所收銀兩除支本省教案賠款外其餘湊還新案賠款並無餘剩現據在籍吏部主事李廷颺等聯名稟稱紳等自造同蒲鐵路及開辦鑛務工鉅費繁畝捐一項加收數年民間久已相安現屆限滿停收擬請展限十五年照舊收捐解交藩庫專備修路開礦之用公司仍照章塡票給息所得息銀餘利分撥各州縣爲興學經費聯請查核具奏等情臣維築路開礦均爲目前要圖而據該紳等合詞籲請自係輿情樂輸擬自光緒三十二年起展限十五年照舊隨糧帶收解交藩庫另款存儲專爲路礦之需至歲攤教案賠款以籌定的款計之實屬不敷支給此後應如何應付之處仍當由司設法籌解臣等語伏查光緒二十七年六月間臣部議覆山西巡撫岑春煊奏預籌晉省教案賠款擬辦情形摺內畝捐一項擬令一俟賠款付清即行奏明停止等因行知遵照在案復經臣部約計淸結教案尙多餘款於三十一年九月行令據實報撥並將畝捐即行停止亦在案今據該撫奏稱紳商聯名稟請展辦畝捐改歸築路開礦之用臣等悉心酌核以民間公捐之財辦地方公益之事挹彼注茲尙非別事搜求且該撫摺內聲稱輿情樂輸自應准其接辦以冀路礦早日見功惟近來州縣各官每多不惜民艱舉辦一事無不假公濟私即地方紳士公正者固不乏人而刁衿劣監經地方官委辦公事倚勢作威魚肉鄉里者亦復不少此項畝捐皆係小民脂膏其所以樂輸者以路礦有裨地方兼爲保護利權起見實屬深明大義儻承辦官紳一切用費任意開支從中漁利一經被人奏參或臣部別有訪聞定即奏請停止並將各官紳指名從嚴參辦以仰副　朝廷軫念民生實事求是之至意相應請　旨飭下山西巡撫督率官紳核實辦理以專責成而收實效一俟開辦有期即將勘明路址遠近講買地價置備物料暨所開何礦在於何處共若干礦以及局員薪水工食雜項一切詳細章程先行報部立案其收支各銀數並此項本銀所得息銀餘利分撥各州縣爲興學之費按年詳細造冊分咨臣部學部查核至所稱畝捐銀兩除支付本省教案賠款外其餘儘數湊還新案賠款並無餘剩究竟逐期攤解賠款動用此項若干據稱飭司查明造冊另行送部查核應令該撫迅將三十一年以前新案賠款動用畝捐銀若干專案報部不得藉詞延宕致稽查核此後歲攤賠款仍應設法按期籌解其動用何項一併咨覆所有遵　旨議奏緣由理合恭摺具陳伏乞　皇太后　皇上聖鑒謹　奏奉　旨依議欽此

中外要聞

●中俄議滿洲約現況　月前俄駐京璞使與唐侍郎磋商滿約璞使堅執周晃密約邀求江吉兩省路礦等特別利權然此項密約係周晃私與俄員商訂與政府無涉按照公法實係廢紙毫無效力故唐少川侍郎據理力爭未肯允認以保全利權俄璞使知唐侍郎爲外交熟手洞悉大局不爲虛詞所恫喝不受詐術之欺愚乃俄欲設法陷之照會外部百方控詞中傷唐侍郎請另派員議約然外部諸公皆洞悉璞使用意所在加以唐侍郎係最妥善之議約大臣婉詞拒斥其請迄今已經月餘雖由外部屢照會俄使催再開議然璞使托詞故意遷就未肯開議一面與俄督聯絡在江吉兩省特重兵強佔利權着着經營不遺餘力其詭詐奸譎爲中外人所痛恨也蓋中俄議約何時開議如何結局雖未易揣度然精明外交洞悉大局有若唐侍郎之人派充議約大臣辦理中俄交涉上有賢明之王公大臣信用唐侍郎不惑人言庶幾中俄交涉得抵制俄國奢望以保全我國主權云

●南昌教案之翻議難　南昌教案已於月前一見定奪然外部慮其內容多不妥善致激民變照會法使請再行議約一節已誌前報茲聞此次新任駐京法使巴博司君來京履任故外部簡派那中堂唐侍郎以任議約委員與巴使磋商云外交中人因此問題詢執筆人云南昌教案已見定奪但未行簽押耳故外部雖願議改恐法使堅持不允另議蓋此次將該教案再行議改則於中國必有利益而於法國萬無一利則加以該教案已由兩國委員商定草約中國萬無強法國允認再議之口實法國安肯再議故雖外部此次派那中堂唐侍郎亦不能翻案究致不得不行簽押矣

●會議江蘇鐵路　昨日江蘇京官議鐵路事宜陸尙書王參議惲學士等到者約百餘人會議鐵路事聞最要者以江蘇路線係定由江以南由上海經松江以達于浙省江以北由海州經徐州以達于豫查豫線由信陽州至浦口已與英有草約倘須磋商議廢矣

●提學使出洋消息　新簡提學使由學部奏請赴日本遊歷三月考察學政然後赴任早經奉旨擬閏四月初十日前後出京東渡適值　聖躬不豫未便請訓乃緩出京擬於節後啓程然因此次有小故再緩啓程擬定於六月初出京並聞某提學使年邁老衰不諳新學故該省官紳頗願更動正在運動之際

●英剿土匪情形　南菲那達爾人皆信因土匪滋擾日形滋蔓調派英兵以便彈壓爲不可緩之事現於磁爾蘭所有美歐僑民刻下大抱危懼並聞英武員麻根西大佐剿捕藪澤地土匪損傷兵員爲數甚多故刻下尙按兵未動云

●日艦回駛　日本戰鬥艦香取鹿島號等現離開勃杜麻烏斯埠已向日本回駛

●英對殖民問題　英國殖民次官查基比爾君現於下院提議華工問題聲稱南菲華工除有十二人外一律不願回國但永久行此制度亦非違法

又由查基比爾君關於殖民地官憲選舉權及勞働黨提議將殖民大臣野爾陳君薪金抵減一事演說云若因此事於議院致生隔膜雖政府黨保有多數必減其數降於下位因急進黨諸士關於華工問題對政府所爲頗抱不慊恐致生變也

●英操模範日本　英政府關於海軍大操部署將士員數擬以日本式樣爲模範已由今日一律試行

●浙江民變　浙省定海縣(譯音)民變搶掠糧棧鹽店拆毀屋宇頗形擾亂

●裁判所之開辦早　各處團隊關於裁判所開辦事宜開會集議均決爲開辦尙早

●杭州機工罷業　杭州所有機工等現已一律罷業

●蘇省泰興民變　江蘇省泰興縣地方民變拆毀釐金局所有商鋪一時均行罷市

●日首相擬推擴滿洲商務　西園寺首相現擬於滿洲以推擴商務爲大宗並關於滿洲賽會補助費欵正在悉心籌議

●端戴入軍機消息　軍機處人云某某大樞密有告退之說端戴二大臣考察政治回國後均有入軍機消息襄助樞政以便實行立憲主義

●滬捕毆學生案　聞外務部近日接得滬學會公電謂上海競存公學與人涉訟並未經公廨會審突有西捕擁入公學聲言拘捕大肆蠻毆傷學生等情以致滬上學界大動公憤請速電江督力爭

●擬調留學畢業生　聞日前刑部堂憲會商現在法律學堂將次開辦需才任使查有日本留學畢業生熊垓在東肄習法學有年於司法事宜俱能洞見本原應行奏調到部派充法律學堂差使以收一臂之助

雜報

●僞藥宜防　本埠吸鴉片煙者因癮病身多有服戒煙藥思除去之法因購由滬上所來中西大藥房梅花參片每入盒二百粒市直銀洋壹元盒乃黏貼封條彌縫甚密常有就其原封之固購之而歸至家中揭驗絕無舛錯且一粒不缺前數日有南街某塾師遣其塾生二人往東街辦事就便於大發怡洋貨鋪買該藥一大盒回塾交其師揭封啓視詎盒內兩置青豆粒雜苞米粒一物急命生等回換詎該舖主人反謂生等抵換生等泣矢而歸幸該舖夥姚姓者性素和平向主人解曰抵換之弊恐或無賴子將封條用法脫下預裝豆粒等物今買者亦被其欺耳該主人頓然省悟越頃該塾師偕生復至忿怒入門指天誓日該姚姓者說明致弊之原乃已換藥而去諺云不經一事不長一智以後買藥之人登時啓視眞僞已分不致被右輩所欺倘遠方之人誤爲買去至家急待解癮而往返需時豈非誤人事乎

●漁民風潮　昨有由天津北楊碼頭莊來人云該處向年鹽魚有稅鮮魚概無捐稅今夏忽有官場委員於大沽口岸創立魚捐凡鮮魚一切徵收乃因捐數甚重民情不堪其南楊碼頭并北楊碼頭漁戶聯合多村會同各處漁民大起風潮買出六人捨生抵命竟於華歷前月抄聚會若狂是日大沽商行全行罷市凡街衢所有商業一切緊閉市門勿須交易否則向內飛擊甎石幾有翻江攪海之勢時共集人約千餘名俱兜頭石碑塊尾後擁隨亦復不勝其數一時鼓譟吶喊齊向捐卡作難幸有該處協台某副戎聞知其事恐釀禍變急前阻勸言爲稟請宮保不消三日必有好音於是衆等旋回各歸各會越日由上批示所有鮮魚捐稅則例仍照向年舊章鹽魚有稅鮮魚免徵此事來人所言皆然未悉果確實否

●網船被擄　今聞進港魚船人云海賊等昨曾放回網船人爲質票者四十餘名每船勒捐凡壹百元有金州所南羊頭窪網船戶盧姓船兩隻措備銀洋貳百元將捉去二人贖回昨夕該船進港本埠魚販高姓者邀其船長宴飲言其綁去網船人約計一百貳拾名之譜幸南北往來諸船消息甚速得信者立即收網逃避不然被捉者尙不識多有幾何云

美國舊金山地震華民之在該境者死傷甚衆苦不堪言各商埠捐金助之誠救災之善舉也昨由上海商會電致本埠盛捐同忠大人勸襄此事本屬恤患之雅意未便觀望凡我同人請皆贊助　公會謹啓

捐助舊金山華僑震災銀洋字號姓名列左

公議頭會	助洋	二百圓
厚發合	仝	二十圓
同興宏	仝	二十圓
永同慶	仝	二十圓
裕發祥	仝	二十圓
義泰德	仝	二十圓
興順魁	仝	二十圓
西義順	仝	二十圓
葉亮卿	仝	三十圓
同聚源	仝	十圓
太古元	仝	十圓
公順號	仝	十圓
義順棧	仝	十圓
興記棧	仝	十圓
恆利德	仝	十圓
福有長	仝	十圓
永遠興	仝	十圓
大德亭	仝	十圓
源成東	仝	十圓
萬[illegible]魁	仝	十圓
和順長	仝	十圓
福增益	仝	五圓
永太德	仝	五圓
天合深	仝	五圓
東魁興	仝	五圓
協盛豐	仝	五圓
大森茂	仝	五圓
東成玉	仝	五圓
福興合	仝	五圓
宏順成	仝	五圓
仁裕號	助洋	二十圓
東永茂	仝	二十圓
長隆泰	仝	二十圓
天合達	仝	十圓
東盛合	仝	二十圓
裕盛長	仝	二十圓
元茂盛	仝	二十圓
潘玉田	仝	三十圓
義順厚	仝	十圓
太古盛	仝	十圓
慶隆和	仝	十圓
東生怡	仝	十圓
義順華	仝	十圓
協玉棧	仝	十圓
宏利和	仝	十圓
信昌永	仝	十圓
盛記	仝	十圓
興茂福	仝	十圓
振昌號	仝	十圓
永同和	仝	十圓
晉和長	仝	十圓
福興和	仝	五圓
亨太棧	仝	五圓
興順新	仝	五圓
天增棧	仝	五圓
興懋長	仝	五圓
天有慶	仝	五圓
豐源棧	仝	五圓
永興恆	仝	五圓
成順號	仝	五圓

(未完)

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之且購本處者其價目格外公道　貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

最低溫度五十九度四低二度七

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　第一樓　元神廟街九十六號（電話八四番）　營口ホテル

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

御料理並ニ温泉　一力　每日新湯　營口永世街　店主　堀万助

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東京樓　營口新市場前（電話一六七番、四四番）　店主　熊田粂次郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街（電話一四五番）　店主　片山小みつ

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）　店主　前田九一郎

御料理　梅廼家　營口二本町　田村瀧太郎

料理　□梅　營濟門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町二百平九号　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田

さるそば第一更科　さるそば第二更科　營口元神廟街　永世街鶴の番角

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　店主　住松信太郎

料理　都樓　平野町　店主　坂本ちか

御旅館　品川館　營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　温泉付大勉強キレーヂワイシヒ　奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話　號）

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　牛肉すき燒　雞肉　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

御定宿　第二東京館　奉天小西關第五分局八〇一〇號　館主　松田平四郎　今回大改良を加へ旅館専業にし御客様の便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店　新日奉館　奉天大西門際　館主　濱田アヤノ

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　淶水館　主任　朝枝園

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永澤宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之祐

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽俱樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任　酉野治三郎

和洋料理御旅館　滿洲ホテル　遼陽西門一七號　上松榮治郎

御旅館料理　扶桑館　奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号　館主　堀田ハル　電話　号

● 森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す ▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄 ▲姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　矯

副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院歯科開設　歯科醫　兒島市郎

森病院（電話一五五）

氷

東洋冷藏　營口大盛號氷公司

『物價高値ノ當地ヲ内地ヨリ安キモノハ金票、酒、煙草、コノ美事ノ氷丈ケヲ御坐リ升』

當分ノ内營口特約店ハ左ノ値段ヲ賣升

◎卸一ポント一錢二厘

◎小賣一ポント一錢五厘

◎一万斤以上ハ隨時御協議致候

● 美人投票開函（第八日）

四百五十九　万梅　ぽん子

三百二十八　万直し　年子

二百五十五　東京館　次郎

二百五十三　第二　雪子
二百〇二　日本館　よしか
百五十八　菊水館　た郎
百五十三　東京月　太忞
百二十　滿月　す子
百〇五　日本館　ら遊
九十　初音　手き
八十七　樂々亭　ゆ八
六十　東京館　仐ね
五十　滿月　た
四十五　金城館　峯時
四十四　東京館　金千代
三十五　万梅　八千代
三十三　音初　若い
二十二　第一　あてま
二十二　第三　おね
二十二　三洲樓　よし子
二十二　金城館　よ之助
二十　醉月　金多代
十　第三　千八
十　大吉樓　喜わ
十　第三　さ光
十　日本館　三子
九十五　滿月　しげ子
九十五　第三　しげ
八十五　金城ホテル　花菊
七十五　万梅　おめ子
五十五　金城ホテル　おらく

● 投票誹彦に告ぐ美人投票中五点以下のものは省きて掲載せず

▲一等　純金指環　元價三十圓

▲二等　寫眞機械コタック　全二十五圓

▲三等　全紙二枚掛引伸　全二十圓

▲四等　全紙引伸　全十圓

五等　半切引伸六圓　六等　四ツ切引伸四圓半　七等　八ツ切三圓半　八等　カビ子二圓半　九等　紀念帖一圓半　十等　繪はかき三打

營口元神廟街　三船寫眞館　月　日

副懸賞　某氏

一等　三味線　一竿

二等　目ざまし時計　一個

三等　裕衣地　一反

會席料理　三日月

營口警務課前南に入る

御披露

追々暑氣ノ相向ひ申候處各位倍御清榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へに江戸生粋の美人數十名を呼寄せ從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせらるゝ御方様には一入の興味を感ぜらるゝことゝ奉存候尚樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁わつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理　本店　奉天小西關新來當街々　金城館（電話十九）

御旅館　奉天小西門街大什字街　金城ホテル（電話二〇）

御料理　支店　營口永世街　金城館（電話八三）

御旅館　支店　營口永世街　金城ホテル

御料理　支店　大連市吉野町　金城館

御旅館　支店　大連市吉野町　金城館

和洋會席御料理　日本館

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

各位様

營口永世街二本町　日本館（電話百三十七）

一和洋御料理　遼東館

遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏荘美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

日本石炭新荷着

多少に係らず御用仰付られ度候

紋定門外　電話百五七　新玉倉庫

新荷着

高等麦酒スペシヤルライト

毎々御引立を蒙り難有御禮申上候扨て麦酒スペシヤルライトの儀今般原料非常に騰貴致候爲め本月一日より左の通り値上げ仕候間左樣御承知被下度尚不相變御引立の程伏て奉願上候　敬具

スペシヤルライト　一函に付　金十一圓五十錢也

六月

醸造元　大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話七五番）

滿韓境上唯一樂園　五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁眺望絶佳今ヤ新綠滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ

當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ

效能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

爲替相場（六月十四日）

日本向　百圓七十五錢（留票百圓に付）

上海向　七十一両一錢（同）

天津向　一百三圓六十二錢五厘（百弗に付）

芝罘向　一百〇三圓六十二錢五厘

日本品最近物價表

加藤洋行

半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢

美濃紙　全　七圓五十錢

仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢

半紙　一紙　十三錢

全　狀袋　二十枚　三錢二厘以上四錢

室内装品飾及寢具　矢野洋行

廉プトン　百枚　十三錢以上十八錢

三枚組　六圓九十錢以上六十五圓

蒲團　十帖　十圓五十錢以上三十五圓

疊表　二圓六十錢以上三圓

薄縁　十枚　八圓

疊敷　一疊　三圓

麻緞通　三圓五十錢

綿緞通　一圓七十錢

由加多織

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　銀四弗八十仙
一ケ年前金　銀九弗六十仙